

◇見込み量の補正について

補正の方向性に基づいて補正を検討した箇所は、以下の表で の項目です。

① 認定状況

■平日日中の教育・保育（1号～3号認定）

		2017.4 (実績)	2018.4 (実績)	2019.4 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
1号		960	741	725	801	799	782	768	753
2号	教育ニーズ				368	367	359	353	345
	保育ニーズ				2,048	2,042	1,999	1,965	1,924
	小計	1,873	1,908	2,081	2,416	2,409	2,358	2,318	2,269
3号	2・1歳	1,593	1,515	1,608	1,602	1,562	1,566	1,547	1,526
	0歳	462	462	408	848	839	828	816	804
2・3号合計		2,055	1,977	2,016	2,450	2,401	2,394	2,363	2,330
合計		4,888	4,626	4,822	5,667	5,609	5,534	5,449	5,352

※2017.4の実績については、「中間見直し」より入力

【1号及び2号教育ニーズの補正】

2号の教育ニーズは、実質的には1号ニーズと捉え、幼稚園を希望し共働きであっても幼稚園の時間帯で問題ないと考えている方（午後は祖父母などがみれるなど）や預かりを希望する人などが考えられます。

また、市内外の私立幼稚園を希望する方も含まれた値となっています。

さらに、現在受け入れを行っていない3歳児のニーズが含まれています。

1号と2号の教育ニーズを合算すると、

$$801 \text{ 人 (2020 年 1 号)} + 368 \text{ 人 (2 号 教育 ニーズ)} = 1,169 \text{ 人}$$

となり、概ね5年間は1,000～1,100人台の見込みになっています。

上記の見込み(1号及び2号教育ニーズ)のうち、3歳児のニーズが300人程度(26.4%)含まれていることから、補正するには3歳児の受け入れについての方向性を検討する必要があります。

市内外の私立に通っていて認定を受けていない3～5歳児の数と3歳児の300人のニーズを見込み量から引くと、概ね1号の実績に近い値になることも考えられることから、3歳児のニーズの受け入れについての方向性が補正のポイントになります。

【3号の0歳の補正】

3号の0歳のニーズは、実績値の2倍近くも過大となっていることから、補正の方向性で示した「育児休業を取得した」または「取得中」をニーズから除いて算出した結果は以下のとおりです。

3号0歳の補正データ（育児休業を取得中などを除いた値）

		2017.4 (実績)	2018.4 (実績)	2019.4 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
3号	0歳	462	462	408	480	474	468	462	455

② 地域子ども子育て支援事業

前ページと同様に、補正を検討した箇所は、以下の表で の項目です。

■地域子ども子育て支援事業

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
時間外保育事業	人	1,733	2,324	1,871	1,850	1,827	1,800	1,769
放課後児童健全育成事業	人	1,253	1,477	2,485	2,486	2,480	2,461	2,455
地域子育て支援拠点事業	人回	14,058	14,380	7,664	7,510	7,487	7,393	7,290
一時預かり（幼稚園在園児対象※預かり保育）								
1号認定による利用	人日	3,098	3,457	923	921	901	886	868
2号認定による利用	人日	70,583	60,286	95,573	95,325	93,288	91,691	89,820
一時預かり、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）※在園児以外	人日	5,712	4,103	55,655	55,016	54,346	53,539	52,621
病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミ・サポ【病児・緊急対応強化事業】）	人日	779	169	11,842	11,708	11,563	11,391	11,195
子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（小学生）	人日	1,608	1,452	0	0	0	0	0
子育て短期支援事業（ショートステイ）	人日	0	0	33	33	33	32	32

【放課後児童健全育成事業】

小学生調査の利用状況より、低学年 237/643 名(36.9%)、高学年 47/736 名(6.4%) が放課後児童健全育成事業を利用しており、低学年・高学年別の推計児童数にそれぞれの割合を掛け合わせて補正した値となっています。

補正データ

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
放課後児童健全育成事業	人	1,253	1,477	1,507	1,507	1,507	1,497	1,493

【地域子育て支援拠点事業】

実績値の 1 人あたりの利用回数の平均を算出し（9.3 回）、それを推計児童数に掛けて補正をした結果が以下のとおりです。

補正データ

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
地域子育て支援拠点事業	人回	14,058	14,380	13,745	13,466	13,429	13,253	13,067

【在園児対象：一時預かり 1 号認定による利用】

算出された 1 号認定の数値に実績値の一人当たり利用回数（4.7 回）を掛け合わせて補正した値となっています。

※ただし、1 号及び 2 号教育ニーズの考え方により、再補正が必要となります。

補正データ

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
一時預かり（1 号認定による利用）	人日	3,098	3,457	3,765	3,755	3,675	3,610	3,539

【在園児対象：一時預かり 2 号認定による利用】

算出された 2 号認定の数値に実績値の一人当たり利用回数（31.6 回）を掛け合わせて補正した値となっています。

補正データ

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
一時預かり（2 号認定による利用）	人日	70,583	60,286	76,346	76,124	74,513	73,249	71,700

【在園児以外：一時預かり、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）】

対象を専業主婦家庭及び短時間パート家庭へ絞り込んだ「補正データ 1」と短時間パート家庭のみの「補正データ 2」の 2 つのパターンで補正。

補正データ 1（対象を専業主婦家庭及び短時間パート家庭に絞り込み）

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
一時預かり、子育て短期支援事業（トワイライトステイ） ※在園児以外	人日	5,712	4,103	16,821	16,623	16,426	16,184	15,908

補正データ 2（対象を短時間パート家庭のみに絞り込み）

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
一時預かり、子育て短期支援事業（トワイライトステイ） ※在園児以外	人日	5,712	4,103	5,117	5,057	4,996	4,922	4,838

【病児保育事業、子育て援助活動支援事業】

「日常的に子どもをみてもらえる親族・知人がいる方」を除いた「補正データ 1」、補正データ 1 よりさらに、「ひとり親、フルタイム×フルタイム家庭に絞り込みかつ、日常的に子どもをみてもらえる親族・知人がいる方」を除いた「補正データ 2」、補正データ 2 の条件に、「緊急時に子どもを見てもらえる親族・知人がいる方」を除いた「補正データ 3」、補正データ 3 の条件でかつ、利用したい希望日数を 2 分の 1（希望の半分は自分で看ることを想定）」とした補正データ 4 の 4 つのパターンで補正を行っています。

補正データ 1（日常的に子どもをみてもらえる親族・知人がいる方」を除いた）

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミ・サポ [病児・緊急対応強化事業]）	人日	779	169	9,607	9,498	9,381	9,241	9,082

補正データ 2（補正データ 1 にさらに、ひとり親、フルタイム×フルタイム家庭に絞り込みなど）

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミ・サポ [病児・緊急対応強化事業]）	人日	779	169	7,863	7,774	7,678	7,564	7,434

補正データ 3（補正データ 2 にさらに、緊急時に子どもをみてもらえる親族・知人がいる方を除く）

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミ・サポ〔病児・緊急対応強化事業〕）	人日	779	169	1,575	1,557	1,538	1,515	1,489

補正データ 4（補正データ 3 にさらに、希望する日数の 2 分の 1 にした場合）

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミ・サポ〔病児・緊急対応強化事業〕）	人日	779	169	972	961	950	935	919

【子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）小学生】

ニーズ調査では、放課後の過ごし方で「ファミリー・サポート・センター」の選択がなかったことから、実績値を基に小学生 1 人当たりの平均利用回数を算出（0.22 回）し、その数を推計児童数（6～11 歳）に掛けて補正した値は以下の通りとなります。

補正データ

		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2020年度 (見込み)	2021年度 (見込み)	2022年度 (見込み)	2023年度 (見込み)	2024年度 (見込み)
子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（小学生）	人日	1,608	1,452	1,540	1,542	1,533	1,518	1,516